

カタクチイワシ〔地方名：しらす（稚魚）〕

1 生態

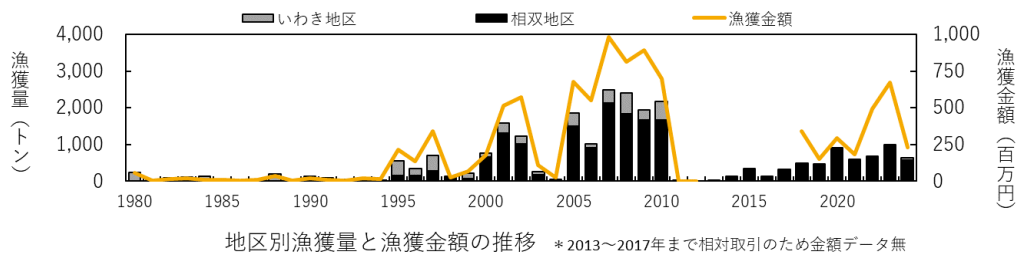
- ・福島県で漁獲される「しらす」は大部分がカタクチイワシの仔魚です。
- ・カタクチイワシの分布域は九州～北海道の太平洋沿岸域、黒潮・黒潮続流域、黒潮親潮移行域、親潮域、沖合は東経170度付近まで及びます。
- ・カタクチイワシ仔魚の成長速度は平均0.5mm/日と推定されており*、1ヶ月ほどで約20mmに成長し、しらすとして漁獲加入します。
- ・1歳で成熟するとされており、産卵はほぼ周年行われます。
- ・主に動物プランクトンを食べます。

* 平成19年度事業概要報告書(福島県水産試験場)



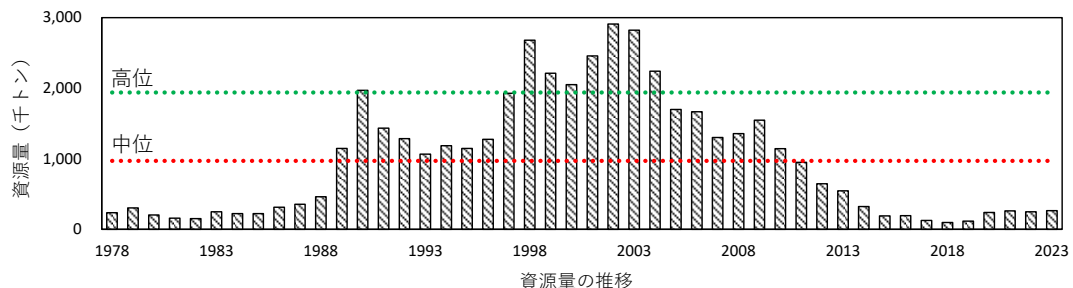
2 漁業に関する情報

- ・機船船びき網で漁獲されています。主な漁期は7～12月です。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）8月から再開されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は631トン、金額は229百万円でした。



3 資源の状態

- ・資源の水準：低位 資源の動向：増加
- ・国による令和6（2024）年度の資源評価によると2023年のカタクチイワシ太平洋系群の資源量は、26.2万トンであり、親魚量の動向も直近5年間の推移から増加傾向にあります。



「令和6（2024）年度カタクチイワシ太平洋系群の資源評価」より上図を作成

4 資源管理の取組み

- ・カエリ以上のカタクチイワシ（36ミリメートル以上程度のカタクチイワシ、体色が銀色のもの）について、国によるTAC管理への移行が進められています。